道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

最近の注目バイクは、軽快な400cc（これは新型のトライアンフ）。どこかに行きたくなります！

三好礼子
エッセイスト・元国際ラリースト
～ http://www.fairytale.jp/ ～

今年の冬は、稀有な経験をいっぱいしました。松本は濡れているだけなのにアイスバーンという路面状況の積雪量は平年並みだったが続き、地元や安曇野市街そうですが、気候変動の影地でも事故多発。それは今響か、大雪が記憶に残らないイナスになったら道はスケいほどの「雪なし」。２月ートリンク」という経験値でもポカポカ陽気でバイクが加わりました。ある朝、ツーリングができるほど暖車がまるごと固くて透明な氷で覆われていて驚いたのかったのです。やっと降ですが、それは「雨氷」でったかと思うと水分がたっした。空気中の水分と風で作られる「エビの尻尾」はぷり含まれており、シャーよく知っていますが、この「アナ雪」の世界は初めベット状なのに硬くなった て。ニュースでも報じられ道の運転は難しく、なんとましたが、人生初の体験はもやっかいでした。除雪後ビックリしますね（なんとも デゴデゴの大きな洗濯板状態で、どこへ飛んでいくかわからないのです。振り返れば昨年暮れから見た目も綺麗でしたが！）。

元旦の地震から早２ヶ月半ですが、今だに水がない地域もあることに心が痛みます。「それぞれができることを」は今も続いており、チャリティーや物資支援などは仲間と一緒に地道に続けています。水といえば、何度かここでも綴りましたが、我が家は町中からぐんぐん登っていった山間地にあり、古来から沢水を管理して利用しているのですが、この冬２回も水源が枯渇したり詰まったりで、大変な状況となりました。原因は昨年の雨量の少なさ。あるいは水脈が変わったのかもしれません。ヤギや犬たちがいなくなった２年前から３千坪という草地は必須でなくなり、それとなく町中のカフェのそばの空き家を探していましたが、つい先日、地元の方に「いいですよ」と言っていただき、大きく一歩前進。夏のお引越しを目指して、半年かけて構想を練ることとなりました。

自分でも驚きなのは、それが明治元年（築１５５年）の古民家だということです。東京から田舎暮らしをしようと家探しをした時から古民家は何軒も見ていますが、どれも改装が大変そうでした。カフェのそばに降りようと思ってこの２年で見た物件も、所有者不在で何年もかかりそうな難航物件ばかりでした。ところが今度の家は一瞬でピピン！　家も敷地も広いものの、草刈りは半減。東山道沿いから善光寺街道沿いに移転というところもユニークです。決め手は「南向き斜面」「お手入れ楽な低い庭木」「瀟洒で綺麗」「伊勢湾台風や震災でも被害なし」「鳥が来る！星空見える！」。そして、昨年秋にツーリングした新潟県の松代や竹所地区で大感動したり、人の幸せを願って動くかで「自分に固執するよが心が安らぐ」のかもしれません。そんな時にご縁が繋がってポンと現れた古民家。朝霧高原のログハウス時代と少し似ているのかもしれませんが、みんなが集って心が再生できるような場所になったら嬉しいなと思います。

という訳で、今年も草刈り頑張るぞーっ！　66歳での新天地計画、我ながらよくやるな～と思いますが、背中を押しているのは、間違いなく能登半島の方々や復興支援に関わり合っている方々のガンバリです！

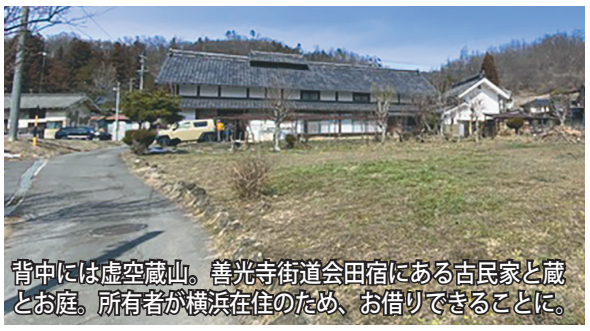
実は毎日いろんな方との交流が楽しくて大好きな我がカフェは、賃貸。大家さんは役所ですが、３年前に肝心の地権者が亡くなって所有者不在となり、移転の話がでるなど大変だったのです。今だにそれは続いていますが、全国から集まってくれるライダーのためにも東奔西走し、「出ていく状況」は脱しました。そんな訳で、無理矢理はだめだけれど、天命に沿っていればよい方向に行くだろうと信じて日々を送っています。チャリティーも、どこの合併をきっかけとして一体的な空間を創出するためにアーケードが整備される場合もみられました。そして同時に、阿佐谷七夕まつりのように、アーケード空間では様々なイベントが打ち出され、ハード面でもソフト面でも一体性が演出されてきました。また、アーケード整備と並行して多くみられるのは路面舗装でしょう。例えば、十条銀座ではアーケード整備に伴い大理石舗装を進め、浅草仲見世やハッピーロード、阿佐谷パールセンターでもそれぞれに路面のカラー舗装化などに取り組む様子も伺えました。その一方、どの商店街でもアーケード空間の維持管理には腐心しているようです。屋根の葺き替えは本来は５年に一度くらいの頻度で必要だと言われていてコストはかさみますし、そもそもアーケード関連の施工技術を持つ会社が数えるほどしかない

大雪のあと、三輪車から大型までが並んだ2月半ば。半袖でも行けそうな日々が続いてビックリでした。

忙しすぎて今季のスノボはたったの４回。抽選漏れが続くけれど、災害ボラでも又行きたいなあ。

話題のインスタントハウスが10棟並んだ能登町のビース。動物と避難している人（無料）や災害ボラ（一泊千円）の拠点として提供中。

チャリティーにお宝グッズを沢山提供してくれた江美ちゃんと。みんなのお陰で、現在70万円を石川県へ寄付できました。


背中には虚空蔵山。善光寺街道会田宿にある古民家と蔵とお庭。所有者が横浜在住のため、お借りできることに。

梁が立派な屋根裏はイベントできそう。17年間（空き家）で天井から落ちた埃がたったのこれだけって、すごい。

都市計画の中の街路㊵

アーケード空間の賑わい（その７）

東洋大学国際学部・准教授
志摩憲寿

これまでに、東京のよく知られたアーケード商店街である浅草新仲見世商店街、十条銀座商店街、ハッピーロード大山商店街、阿佐谷パールセンター商店街をとりあげて、アーケード空間の整備過程をご紹介してきました。そこから見えてきたところを少し整理しておきたいと思います。

アーケード整備のきっかけには、まず第一に、典型的には浅草新仲見世商店街や阿佐ヶ谷パール商店街のように、早くは戦後直後、多くは、昭和30年代から昭和50年代の前半にかけての商店街の近代化にあるようです。実際、例のアーケード設置基準の通達が出されたのもまさにこの頃、昭和30年です。また、十条銀座商店街やハッピーロード大山商店街のように、商店街の合併をきっかけとして一体的な空間を創出するためにアーケードが整備される場合もみられました。そして同時に、阿佐谷七夕まつりなどの構造的な課題も聞かれました。

さらに、アーケード設置基準では、「防火、交通及び衛生上の弊害を伴うものであるから、抑制の方針をとる」として、「アーケードが設置されたときはややもすれば道路上にみだりに商品、立看板、自転車等を存置する傾向があり、・・・（中略）・・・このようなことのないように厳重に取り締ること」と指摘するなど、アーケード空間の設えに対して厳しい姿勢が見受けられますが、アーケード空間を改めて眺めてみると・・・例えば、看板の類を一つとってみても、浅草仲見世では「黄金の電飾統一看板」が設置されたり、横断幕やフラッグに広告が打たれたり、また、ハッピーロードには商店街４ヶ所に大型モニターが設置されていたりと、様々な設えが所狭しと展開している様子が見受けられます。

アーケードと共に整備されてきた舗装や看板のような様々な設えは、アーケード空間に賑わいを添えていることは間違いないところでしょう。こうした設えが果たして商店街にどのくらい設置されていて、どのような賑わいを与えているでしょうかなどなど、アーケード空間の設えに着目してゆきたいと思います。

参考文献　警視庁ウェブサイト（https://www.npa.go.jp/）

アーケード空間の様々な設え
（杉並区・西荻南口仲通商店街にて）

道路交通情報

◇道路緊急ダイヤル　#9910
◇NEXCO東日本
http://www.e-nexco.co.jp/
◇NEXCO中日本
http://www.c-nexco.co.jp/
◇NEXCO西日本
http://www.w-nexco.co.jp/
◇首都高速
http://www.shutoko.jp/
◇阪神高速
http://www.hanshin-exp.co.jp/
◇本四高速
http://www.jb-honshi.co.jp/
◇日本道路交通情報センター
http://www.jartic.or.jp/

道路ニュースの宛名変更・発送停止について

宛名変更につきましては、下記の宛名記載例の「No.0000」または「U-00000」と変更後の住所等をご記入の上、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

発送停止につきましては、「No.0000」または「U-00000」と社名・氏名等をご記入の上、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

【宛名記載例】
〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-3-1　尚友会館6F
全国道路利用者会議　様
No.0000　または　**U-00000**　1部

FAX　03-3501-5612
E-mail　the_road_news@road-jhuc.jp